# 路面変位計測システム

## Road Man

**特長**

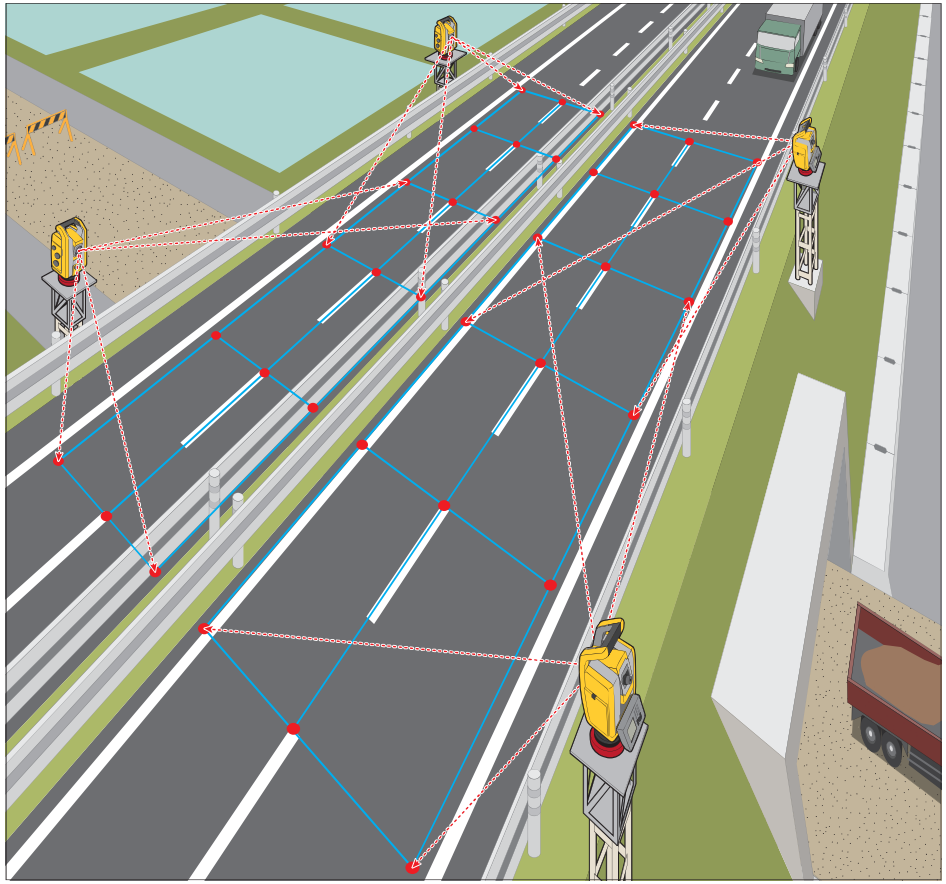
本システムは供用中の道路に近接して工事を行う際に、トータルステーションのノンプリズム計測機能を利用して、路面変状を面的に自動計測するシステムです。高速道路のアンダーパス工事や、軟弱地盤上における道路の近接施工工事に多数の実績を有します。また、24時間連続自動監視をすることにより、注意喚起をリアルタイムに行うことが可能です。

※測距時にレーザーを照射することなく、路面計測をすることが可能

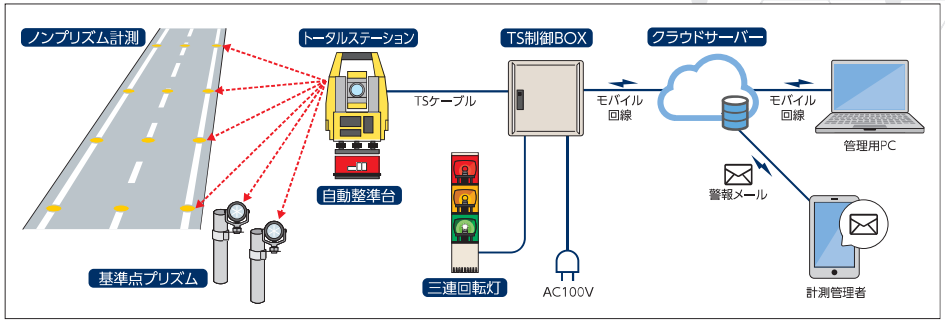
**POINT**

- ◉自動観測の導入による、観測業務の省人化
- ◉初期値からの変位量を自動算出する事で、データ整理を効率化

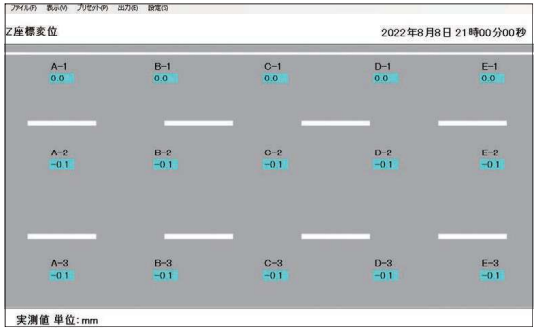
### ■概要図

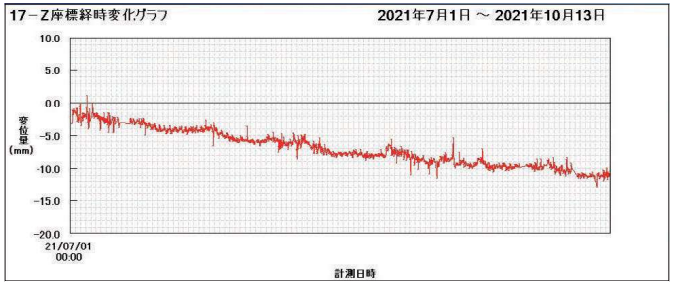


### ■システム構成



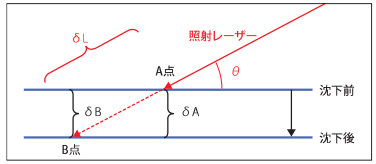

### ■管理ソフト




### ■計測原理

路面変位計測では、繰り返し同じ方向(水平角、鉛直角)を計測します。A点で初期値をとった場合、沈下後はB点を計測することになりますが、路面を平面とみなし、A点の沈下量とB点の沈下量は等しいとして、沈下量を算出します。




### ■施工写真